

令和3年度 市民意識調査 反映状況

	調査項目（実施課）	反映状況
1	市民満足度調査 （企画課・広報課）	市民満足度調査の設問は、第3次静岡市総合計画に基づく本市の市政に対する市民満足度を測る項目であり、一部の設問については、総合計画の評価項目に設定されていることから、調査結果を総合計画の進捗状況把握等へ活用している。
2	市政情報について （広報課）	<p>《令和4年～ 実施中》</p> <p>「欲しい情報が十分手に入れない」理由を聞いたところ、「市ホームページが見つらいから」が21%、「市ホームページに欲しい情報が載っていないから」が18%、「市ホームページの情報が古いから」が6%など、市ホームページに関する回答が多かったことを踏まえ、誰もが欲しい情報が掲載されたページに簡単にたどり着くことのできるウェブサイトを目指した全面リニューアルに、令和4年度から着手している。</p> <p>令和4年度 現状分析など 令和5年度 リニューアル作業 リニューアル公開予定（令和6年3月1日）</p>
3	プラスチックごみ問題に対する 取り組みについて （ごみ減量推進課）	<p>《令和3年12月 実施》</p> <p>プラスチックごみ削減のために、今後市に取り組んでほしい事は何かという問いへの回答で「スーパーやコンビニエンスストアなどの事業者と連携した普及啓発」が47.6%と最も多かったので、大手コンビニエンスストアチェーン店と協力し、市内小学校、高校に対して出前授業を実施しプラスチックごみの現状を理解してもらい、コンビニエンスストアチェーンの対策から自分たちが普段の生活の中で何ができるか考えてもらい意識変容に繋げた。</p> <p>《令和3年10月 実施》</p> <p>プラスチックごみ削減のために、今後市に取り組んでほしい事は何かという問いへの回答で「ペットボトル分別回収の充実化」が46.7%となっており、また、ペットボトルを可燃ごみ排出する理由として「近所に回収場所がないから」が36.4%と最も多かったので、セブン-イレブン・ジャパンと協働で市内80店舗へペットボトル回収機を設置し、ペットボトルの排出機会の増加、循環型リサイクルの取組を開始した。</p> <p>また、セブン-イレブン・ジャパンと出前授業を実施した清水桜が丘高校の生徒がペットボトル回収機の利用機会増加をはかるための啓発動画も制作した。</p>
4	上下水道事業の満足度について （上下水道経営課）	<p>《令和3年～ 検討中》</p> <p>「あなたは、今回の水道料金改定についてどのように情報を得ましたか」という問いに対し、「知らなかった（この調査で初めて知った）」と選択した人が44.3%となった。改定後に「今回の改定を全く知らなかった」とする市民の声も直接寄せられており、特に家計や企業などで経理事務を預かる方たちが料金改定を事後に知ることがないよう周知方法を改善していく必要がある。</p> <p>この結果を踏まえ、日常から検針票に目が行く方に対して、料金改定の情報を確実に届けられるよう検針票投函の際に改定の案内（チラシ）を同時投函する。令和2年度の水道料金改定では検針委託先と調整が出来ず実施を見送った経緯があるが、次期改定の際はバブコメ実施時、改定決定時などのタイミングで、複数回、きめ細かく情報が提供できるよう、検針業務委託など見直しを図っていく。</p> <p>また、静岡気分（静岡市広報紙）など効果の高かった媒体での広報を継続しつつ、SNSの活用など、効果的な広報に努めていく。</p> <p>※次期料金改定は令和6年度以降を予定している。</p>
5	水道料金・下水道使用料の 納付方法について （お客様サービス課）	<p>《令和3年5月～ 検討中》</p> <p>水道料金及び下水道使用料の納付環境について導入を希望するものとして「クレジットカード決済」が24.8%であったことから、令和6年10月を目途として、クレジットカード決済利用者の募集開始を予定している。令和5年6月現在、導入準備業務として、登録受付サイト構築等の業務委託の入札実施にむけた準備を進めている。</p> <p>平成30年から検討を進めていた、徴収サイクルの見直しに関する設問では、納付書による納付期限を変更することについて「問題はない」が55.1%、口座振替の再振替を廃止することについて「問題はない」が40.6%と、それぞれ最も多かったので、口座振替の再振替廃止を含む納期限の変更を、令和6年10月からの実施に向けた計画に反映させた。</p>
6	「静岡市の救急医療の利用」につ いて （保健衛生医療課）	<p>《令和5年3月 実施》</p> <p>静岡市急病センターが夜間の救急医療を担っていることを「知らない」と答えたのは、10代、20代で5割近くと若い世代ほど知らない割合が高くなることから、広報紙やポスター等の不特定多数に対する啓発に加え、自分事と捉えてもらえるように、ターゲットを絞った啓発にも取り組んでいくために、静岡市急病センターについて、名刺サイズの周知用カードを作成した。</p> <p>救急医療を担う市内の病院に配布し、夜間や休日に救急外来を利用した市民への配布の協力をお願いするとともに、医師会を通じて、診療所の受付窓口への配架依頼を行った。</p>
7	静岡市議会議員選挙について （選挙管理委員会事務局）	<p>《令和4年4月 実施》</p> <p>近年低迷している若年層の投票率向上を図るため、令和4年4月から静岡市選挙啓発サポーター制度を開始した。</p> <p>メンバーは静岡市内に在住・在学・在勤の若者9名（大学生等3名、高校生6名）で構成され、若者の選挙や政治への関心を高めるためにどうしたらいいかを若者自らの視点で考え、若年層の政治意識・投票率向上を図るための活動として、検討会議を9回（令和4年度実績）開催し、メンバーのうち5人は参議院議員選挙において投票事務に従事した。</p> <p>そのほか、選挙啓発冊子の編集、二十歳の記念式典で配布するチラシや出前講座で使用するデータCDの製作などを行い、若年層向けの選挙啓発活動を行った。</p>